



2021年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年6月14日

上場会社名 株式会社 Link-U 上場取引所 東
 コード番号 4446 URL <https://www.link-u.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 裕樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 志村 優太 TEL 03 (6260) 9279
 四半期報告書提出予定日 2021年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第3四半期の連結業績（2020年8月1日～2021年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第3四半期	1,176	—	227	—	219	—	140	—
2020年7月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年7月期第3四半期 146百万円 (—%) 2020年7月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第3四半期	10.01	9.85
2020年7月期第3四半期	—	—

(注) 2021年7月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年7月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年7月期第3四半期	2,544	2,172	82.4
2020年7月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2021年7月期第3四半期 2,097百万円 2020年7月期 一百万円

(注) 2021年7月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年7月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年7月期	—	0.00	—	—	—
2021年7月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年7月期の連結業績予想（2020年8月1日～2021年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,486	—	124	—	118	—	80	—	5.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2021年7月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年7月期3Q	14,130,300株	2020年7月期	13,958,700株
② 期末自己株式数	2021年7月期3Q	30株	2020年7月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年7月期3Q	14,009,161株	2020年7月期3Q	13,632,035株

（注）当社は、2020年1月16日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法の適用範囲の変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、2021年7月期第1四半期末をみなし取得日としてリベラルマーケティング株式会社を連結子会社化し、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表作成会社に移行いたしました。従いまして、前年同四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表を作成しておりませんので、これらとの比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「世の中の課題を技術で解決する」という経営理念のもと、自社設計のオリジナルサーバーを基軸としたデータ配信と、そのデータを適切に蓄積・分析・処理するAIソリューションを併せてワンストップで提供するサーバープラットフォームビジネスを展開しております。その中で培ったサーバーインフラ技術、データ処理技術及びコンテンツ処理技術等を強みとして、事業規模を拡大してまいりました。

当社グループの事業領域である情報通信産業は、総務省発行の「令和2年版情報通信白書」によると、2018年時点で99.1兆円の市場規模となっており、全産業の9.8%を占めております。また2011年価格をベースとした実質国内生産額では、2000年から年平均成長率0.9%で成長しております。また中でもネット利用状況の変化により、移動体通信サービス契約者の下り総トラフィック量は、2019年6月時点の2,926Gbpsから2020年6月時点で3,525Gbpsと、前期比で約20%増加しました（総務省「我が国の移動通信トラフィックの現状」）。

このような経営環境の中、当社グループは、リカーリングサービス及び初期開発・保守開発サービスにおいて、既存サービスの収益力拡大及び新規サービスのリリースに注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,176,438千円、営業利益227,468千円、経常利益219,776千円、親会社株主に帰属する四半期純利益140,179千円となりました。

なお、当社グループはインターネットサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。サービス別の状況は、次のとおりであります。

(リカーリングサービス)

「リカーリングサービス」は、レベニューシェア収益及び月額固定収益（サブスクリプション）で構成されております。

当第3四半期連結累計期間においては、利益拡大余地の低い一部の開発・保守案件から撤退を行うとともに、エンジニアをマンガサービスの改善にアサインすることで、ユーザビリティの向上等による収益力拡大に努めました。その結果、マンガサービスにおけるユーザー数は引き続き増加しておりますが、海賊版サイトの利用者の増加が売上高に影響を与えていると認識しております。なお新規案件としては、株式会社双葉社と「マンガがうがう」をリリースしております。

この結果、リカーリングサービスの売上高は1,007,987千円となりました。

(初期開発・保守開発サービス)

「初期開発・保守開発サービス」は、リカーリングサービス案件獲得のための受託開発を提供するサービスです。取引先の新規サービス立ち上げ時、既存サーバーからの乗り換え時に、当社グループがその後のサービス保守運用も見据えたサーバープラットフォームやアプリケーション等をワンストップで提供します。

当第3四半期連結累計期間においては、新規案件としては、株式会社KADOKAWAと「電撃ノベコミ」をリリースいたしました。また、持続的な成長に必要な不可欠となってくるリカーリングサービス案件の獲得に努めており、その他の複数のサービスを開発いたしました。

この結果、初期開発・保守開発サービスの売上高は168,450千円となりました。

(その他サービス)

その他サービスは、上記の2サービスに分類されないサービスなどにより構成されております。

その他サービスの売上高は1千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は2,544,664千円となりました。

流動資産は1,561,358千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金1,157,068千円、売掛金309,950千円です。

固定資産は983,305千円となりました。その主な内訳は、有形固定資産208,559千円、のれん275,413千円、投資有価証券350,026千円です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は372,201千円となりました。

流動負債は372,201千円となりました。その主な内訳は、未払法人税等31,030千円、賞与引当金21,223千円です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,172,463千円となりました。その主な内訳は、資本金476,396千円、資本剰余金475,396千円、利益剰余金1,145,691千円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月12日に公表した連結業績予想の数値について、新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な影響が予想されますが、現状において、当社の事業や業績への過大な影響はみとめられておりません。

2021年7月期の業績予想については2021年3月12日に公表した連結業績予想を据え置き、今後の状況の変化により、通期の連結業績予想に修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2021年4月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,157,068
売掛金	309,950
仕掛品	6,731
貯蔵品	691
その他	88,792
貸倒引当金	△1,876
流動資産合計	1,561,358
固定資産	
有形固定資産	208,559
無形固定資産	
のれん	275,413
その他	2,802
無形固定資産合計	278,216
投資その他の資産	
投資有価証券	350,026
その他	146,503
投資その他の資産合計	496,529
固定資産合計	983,305
資産合計	2,544,664
負債の部	
流動負債	
未払法人税等	31,030
賞与引当金	21,223
移転損失引当金	3,923
その他	316,022
流動負債合計	372,201
負債合計	372,201
純資産の部	
株主資本	
資本金	476,396
資本剰余金	475,396
利益剰余金	1,145,691
自己株式	△75
株主資本合計	2,097,410
非支配株主持分	75,052
純資産合計	2,172,463
負債純資産合計	2,544,664

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)
売上高	1,176,438
売上原価	385,439
売上総利益	790,999
販売費及び一般管理費	563,530
営業利益	227,468
営業外収益	
受取利息	13
業務委託料	899
受取補填金	4,000
その他	444
営業外収益合計	5,357
営業外費用	
支払利息	6
為替差損	345
持分法による投資損失	11,608
事務所移転費用	1,087
その他	0
営業外費用合計	13,049
経常利益	219,776
特別利益	
持分変動利益	8,159
特別利益合計	8,159
特別損失	
移転損失引当金繰入額	3,923
特別損失合計	3,923
税金等調整前四半期純利益	224,012
法人税等	77,171
四半期純利益	146,840
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,660
親会社株主に帰属する四半期純利益	140,179

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益	146,840
四半期包括利益	146,840
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	140,179
非支配株主に係る四半期包括利益	6,660

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法の適用範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間において、株式取得によりリベラルマーケティング株式会社を子会社化したことに伴い、第1四半期連結会計期間から同社を連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、株式会社Hashpaletteの株式の保有比率低下のため、持分法適用の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症には不確定要素が多く、感染症拡大防止の対応期間や影響について先の見通しが困難なところではありますが、感染拡大の影響が少なくとも一定期間続くとの仮定のもと、会計上の見積りを会計処理に反映しております。

そのため、当該仮定と実際の間乖離が生じた場合には当第3四半期連結会計期間以降の当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

当社は、インターネットサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式の取得による持分法適用関連会社化)

当社は、2021年6月3日開催の取締役会において、Comikey Media Inc. (以下、「Comikey Media」という。)の第三者割当増資を引き受け、同社を持分法適用関連会社化することについて決議いたしました。

1. 資本参加及び業務提携の理由と内容

当社グループは、「世の中の課題を技術で解決する」という経営理念のもと、自社設計のオリジナルサーバーを基軸としたデータ配信と、そのデータを適切に蓄積・分析・処理するAIソリューションを併せてワンストップで提供するサーバープラットフォームビジネスを展開しております。

Comikey Mediaは、日本・韓国・中国を主としたアジアのマンガコンテンツを、英語やスペイン語、ポルトガル語といった世界中の様々な言語に翻訳及びローカライズするビジネスを展開しております。

両社の強みを併せた新事業として、日本マンガを含むアジアコンテンツの全世界配信プラットフォームサービス「Comikey」を立ち上げます。「Comikey」では、出版社様からお預かりした作品を翻訳及びローカライズして配信します。一部の連載中作品については、最新話を日本語版配信と同時配信を予定しています。翻訳及びローカライズは、当初は英語版のみになりますが、事業拡大にあわせ複数言語を配信していく予定です。

また、本事業の成長促進と両社連携強化を図るべく、資本参加することを決定しました。当社はComikey Mediaの第三者割当増資を引き受けることにより約1億円を出資し、Comikey Mediaに対する当社の議決権所有割合は50%となります。

「Comikey」の立ち上げにより、英語及びその他の言語での良質な正規版流通の促進、そして、より多くの出版社様及び作家様の作品を全世界の読者への配信が可能となります。本資本業務提携を通して、事業拡大に向けて取り組みを進めてまいります。

2. 持分法適用関連会社となる会社の概要

- | | |
|---------------|---|
| (1) 名称 | : Comikey Media Inc. |
| (2) 所在地 | : 1327 SE TACOMA ST # 256 PORTLAND OR 97202 USA |
| (3) 代表者の役職・氏名 | : HENRY STARK |
| (4) 事業内容 | : コンテンツの翻訳及びローカライズ事業等 |
| (5) 資本金 | : 11,499.62USD |
| (6) 設立年月日 | : 2020年4月3日 |

3. 取得後の所有株式数、取得価額及び取得後の持分比率

- | | |
|---------------|----------|
| (1) 取得後の所有株式数 | : 1,000株 |
| (2) 取得価額 | : 約1億円 |
| (3) 取得後の持分比率 | : 50% |

4. 株式取得の時期

2021年6月15日 (予定)